

CASBEE 広島 2016年版		■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版			
株式会社日本製鋼所広島製作所 第4機械工場建設工事		欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)			
スコアシート		実施設計段階			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					3.5
Q1 室内環境					
1 音環境		-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	-
1.2 遮音		-	-	-	-
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	-
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-
1.3 吸音		-	-	-	-
2 温熱環境		-	-	-	-
2.1 室温制御		-	-	-	-
1 室温		-	-	3.0	-
2 外皮性能		-	-	3.0	-
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-
2.3 空調方式		-	-	3.0	-
3 光・視環境		-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-
1 昼光率		-	-	-	-
2 方位別開口		-	-	-	-
3 昼光利用設備		-	-	-	-
3.2 グレア対策		-	-	-	-
1 昼光制御		-	-	-	-
3.3 照度		-	-	3.0	-
3.4 照明制御		-	-	-	-
4 空気質環境		-	-	-	-
4.1 発生源対策		-	-	-	-
1 化学汚染物質		-	-	3.0	-
4.2 換気		-	-	-	-
1 換気量		-	-	3.0	-
2 自然換気性能		-	-	3.0	-
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-
4.3 運用管理		-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-
2 喫煙の制御		-	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-
1 機能性		-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-
1 広さ・収納性		-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-
3 バリアフリー計画		-	-	-	-
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-
3 内装計画		-	-	-	-
1.3 維持管理		-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-
2 耐用性・信頼性		2.9	0.50	-	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-

3 対応性・更新性			3.3	0.50	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.7m以上	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	空調配管において、構造部材及仕上げ材を痛めることなく更新・修繕	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	衛生配管において、構造部材及仕上げ材を痛めることなく更新・修繕	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.33	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]: -	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.67	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型洋風便器・小便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能、内装材と設備材が容易に取り	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	